

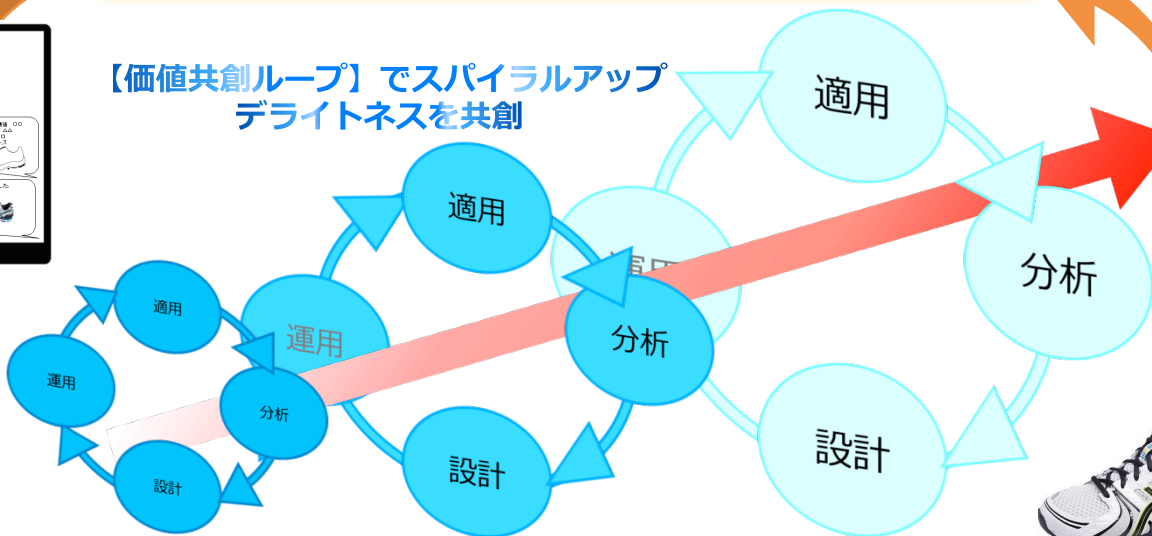
リアクティブ3Dプリンタによるテーラーメイドラバー製品の設計生産と社会的な価値共創に関する研究開発

「つくる人工物」から「育てる人工物」へ

- ①インターネットを駆使し (Internet of Value、IoV)、ユーザとプロデューサとがデライトネスを共に創り出すため**価値共創システム**を構築し、一緒になって**「育てる人工物」**を実現する。
- ②架橋ラバー製品を対象とする『**リアクティブ3Dプリンタ**』技術の開発：ラバー製品の3Dプリンティング技術を創成し、ランニングシューズに適用する

ユーザ (消費者・店舗)

【価値共創ループ】でスパイラルアップ
デライトネスを共創

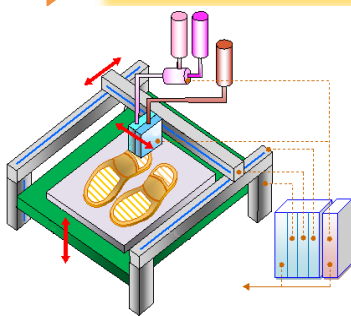


1st ループ @特別店舗
・フルテーラーメイド
・トップアスリート

2nd ループ @準特別店舗
・セミテーラーメイド
・アスリート

3rd ループ @一般店舗
・部分テーラーメイド
・一般ユーザ

プロデューサ (研究開発・製造・販売)



産学官コンソーシアム

工学的アプローチ

ラバー製品のための
革新的なリアクティブ
3Dプリンタ技術

産：(株) アシックス・(株) 神戸工業試験場
住友ゴム工業(株)・バンドー化学(株)
学：神戸大学 システム情報学研究所・
工学研究科・経営学研究科
官：兵庫県立工業技術センター・
(独) 産業技術総合研究所

システム・社会的アプローチ

ユーザのデライトネスを
価値共創する
生産設計システム

✓ユーザとともにデライトネスを共創、そのための価値共創プラットフォームを構築

✓ライフスタイルの革新

✓他分野への適用

- ・スポーツ用品 (自転車等のグリップ) ・自動車部品 (バックシート等)
- ・介護用品 (サポーター・義肢・アシストスーツ) ・手術訓練用臓器モデル等